

編集後記 おかげさまで(^^) /

表紙は、番（つが）いと思しき愛らしいメジロの写真。
メジロは一生同じ相手と添い遂げるといふ、小型の鳥では
珍しい鳥です。あの「オシドリ」でも毎年パートナーを替えるそうだからね。
僕は見たことはないですが、夜になると番いのメジロは枝上でくっついて並んで休むという、
「接触睡眠」という習性があり、それはそれはなんとも愛らしい姿だと聞きます。
一度見てみたい気もしますが、やはりそっとしておきたいですね。(^^) /



アヴニール労務事務所 所長 柿野元博

<http://www.avenir-sr.jp>

E-Mail avenir4you@gmail.com



世間がそっとできなかったのが、東京オリパラ組織委員会の森元会長とその後任人事でした。
森元会長の女性蔑視発言は許されるものではないですし、今回の川淵三郎氏の勇み足的な進め方も
批判されてもしょうがないのですが、なかには言動を批判するというより、「老害」等というような
あたかも存在そのものを否定するような激しい言いようもありました。
根底に**相手に対する尊重**の気持ちがないのであれば、どちらもどっちのように感じます。



「**おかげさま**」という言葉があります。

「お陰」は、仏様の助けやご加護のことで、仏様や他人様のお陰で生かされていることを自覚し感謝する
という意味からきており、「おかげさま」という言葉は、仏教が説く「**諸法無我**（しょほうむが）」を教えて
下さっている、特別な言葉だといえます。

「諸法無我」とは、全てのものごとは影響を及ぼし合う因果関係によって成り立っていて、他と関係なしに
独立して存在するものなどない、という仏教の根幹となる教えの一つです。

自分が存在できているのは、周囲の「おかげさま」あってのこと。

この「おかげさま」という言葉は英語にしにくい日本語だそうです。

ジェンダーによる差別とかハラメントとか考えることはもちろん大切ですが、改めて
「おかげさま」という素敵な日本語について広く考えてほしいなあって感じています。

おかげさまで。



川淵三郎氏は、余計なことをしゃべり過ぎてしまったと反省の弁を述べていましたが、いくら能力が
高い人でも、進め方を誤ると意図しない結果になってしまうということを改めて知らされました。
僕が所属している日本報連相センターには、次の一つの方程式があります。

仕事の成果 = 能力 × 仕事の進め方

掛け算なので、能力がいくら高くても仕事の進め方がゼロだったら、成果はゼロということになります。
逆に能力がそんなに高くなくとも、仕事の進め方がよければ能力の何倍の成果を上げることが
できるということにもなります。

この「**仕事の進め方**」こそ、**仕事におけるコミュニケーション**（「報連相＝報告・連絡・相談」）
による**情報の共有、目的の共有、思いの共有**だと思います。



季節はだんだんと温かくなってきました。もうすぐツバメが日本にやってきて、代わりに
日本で越冬した雁などの渡り鳥が「V」の字の編隊を組んで大陸に渡っていきます。

V字型の編隊は、鳥が翼を羽ばたくたびに生み出す、後ろにいる鳥を持ち上げる力を利用することで、
長い距離を飛ぶことができるというものだそうです。（「**チコちゃんに叱られる**」で教えてもらいました!）(^^) /
先頭の鳥が疲れると、編隊の後ろに付き、今度は他の鳥が先頭に立ちます。

「渡り」は数百キロに及ぶ大移動。いくら飛ぶ能力が高い鳥でも一羽だけでは目的地に
たどりつくことはできません。でも、同じ目的と方向性を共有し仲間を信頼する鳥たちは、
その飛び方をチームで工夫すれば可能になることを知っています。

互いを尊重し、みんなで協力して進むことができれば、目的地の地により早くより確実に
たどり着けることを、渡り鳥たちは知っているのです。

僕たちは、鳥たちからもいっぱい学ぶことができるように思います。

おかげさまで ^^



がんばってるね!



アヴニール労務事務所
未来は変えられる! **avenir**